

富士山ライナーの利用状況と今後の対応について

御殿場市地域公共交通協議会

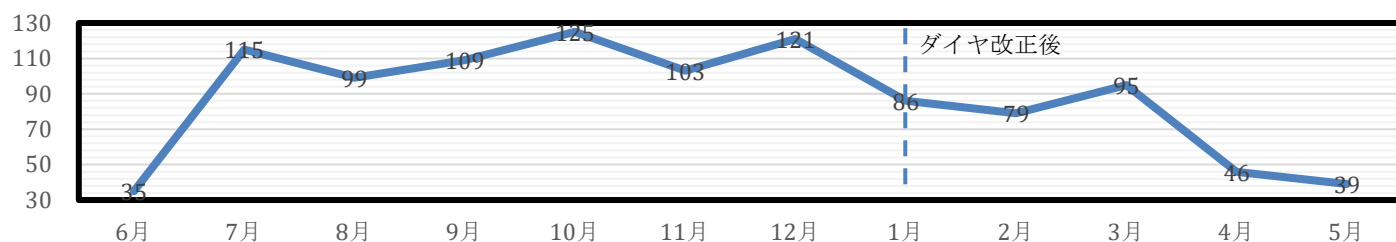
1 報告の趣旨

JR 御殿場駅と小田急線新松田駅を結ぶ「富士山ライナー」について、令和 8 年 5 月末時点の利用実績及び定期券補助利用者アンケート結果を報告するとともに、利用実態を踏まえた今後の運行及び利用促進の取組について報告するものです。

2 利用実績（5 月末時点）

累計乗車人数 1,052 人	1 日平均 4.71 人/日	1 便平均 1.57 人/便	5 月実績 39 人 0.72 人/便
-------------------	-------------------	-------------------	---------------------------

月別乗車人員の推移（6 月～5 月）



→1 便平均 1.57 人にとどまり、利用者数は低い状況が続いている。

※詳細は資料 6-2 参照

3 定期券補助利用者アンケート結果及び利用実態に基づく対応状況

【定期券補助利用者アンケート結果】（回答率 48%：168 人／338 人）	【対応状況】
・往路は「7 時 0 0」、復路は「17：00」及び「18：00」の利用希望が多かった。	→令和 8 年 1 月 5 日から朝便及び夜便のダイヤを変更。
・夕方便は利用実績及び利用意向ともに 3 便の中で最も高い。	→現行ダイヤを維持。
・運賃については、「適当である」との回答が過半数を占めた。	→運賃については変更なし。
・シャトルバスに乗車したことがないとの回答が約 9 割を占めた。 また、利用しない理由としては、「シャトルバスを知らなかった」が最も多く、次いで「電車の定期券を持っているため」、「時間帯が合わない」が多かった。	→広報を強化するとともに、利用実績及び利用ニーズの把握を継続し、必要に応じてダイヤの見直しや減便等を検討する。

4 今後の対応

項目	対応方針	ねらい
運行	・現行のダイヤより朝便を 30～60 分繰り下げ、通勤・通学時間帯に近づける。（運行継続）	・希望時間帯に変更
	・夜便は、利用実績及び利用意向が低いことから減便とする。（6/1～減便）	・利用実態に基づく変更、減便
広報	・広報ごてんば、チラシの全戸配布、ラジオ、LINE、HP 等に加え、7/1 から 1 か月間御殿場線の電車内においてポスター掲示を行う。	・認知度向上と新規利用者確保